

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (中国)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・以前よりも昼時の客が増えてきた。飲食店は3時頃が一番暇なときであるが、徐々に客が戻ってきている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・6月末から7月初めにかけてのボーナス支給と、アベノミクス効果により高額品の販売は好調である。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・客単価が上がってきた。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・4月から現在までずっと前年を下回る状況が続いており、7月も前年同月の95%程度である。前年を上回っている店舗は30%程度で飲食業とサービス業であり、アパレルはほとんどが沈んでいる。飲食店長の話では、来客数は落ちているが客単価は上がっており、7月は徐々に上向いている感じである。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・2か月連続で来客数が前年の101%で推移しているが、暑さしのぎのための来店とも考えられる。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は前年をやや下回るが、1人当たりの買上点数は前年より伸びている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・小売環境が大きく変化したとは思わないが、生活必需品中心に、販売量が増加傾向にある。特に今年は気温が高く、水と飲料が大幅に増加している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・近所で工事をやっており、朝昼夕以外の休憩時間にも工事現場の客が来て、来客数は増加している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・晴天や気温上昇により、アイスや飲料等が好調である。
		コンビニ（副地域ブロック長）	単価の動き	・来客数は変わらないが、客単価が上昇傾向にある。
		乗用車販売店（副店長）	販売量の動き	・前年はエコカー補助金と新型車効果で強い追い風であったが、今年の受注も前年の10%減程度にとどまっている。
		住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・高額商品が売れるようになった。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・JRのキャンペーン効果で来客数が増えた。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	販売量の動き	・梅雨明けが7月上旬になり、気温の高い状況が続いたため、夏物商品の前倒し需要が顕著であった。特にエアコンやUV関連商品の動きが良かった。また、日中の猛暑で朝と夕方以降に来店がシフトし、特に夕方からの来客数の伸びが大きい。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・最近、客単価が微増である。梅雨明けの早さもあり、例年より客の動きは良い。客の外食意欲の高まりも感じられ、今後もしばらくこのような状態は続く。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客の様子が明るい。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・個人客の動向は多少上向いているように感じられる。企業においては、上向いている企業と急激に悪化した企業に分かれている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・ボーナスが出て、売上は伸びている。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・購買や導入、サービスへの関心や検討度が高まってきている。
	競艇場（職員）	販売量の動き	・7月下旬に発売した女子レースで電話投票売上と協力他場売上が確保できた。	
	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・消費税増税絡みでの受注量が増えている。	
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・消費税増税の動きをにらんでか、来春までに工事を終わらせたいとの相談が増えている。	
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・現在は客の動きにつられるように販売量の動きも少し良くなっている。	
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・今月に入って猛暑の影響もあって、日中の客の出入りが極端に少ない。特に、高齢者の通行、来店頻度が低下している。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・物価は上昇しているが、収入に変化がないため、あまり無駄遣いができないと客が話している。

一般小売店 〔靴〕（経営者）	来客数の動き	・バーゲン時期であるが、価格の安定した商品を求める客が目立っている。
一般小売店〔酒店〕（経営者）	お客様の様子	・お中元商品は前年とほぼ同様の注文があり、節約意識はないようである。好天で猛暑日が続いており、ジュースやアイスなどの売れ行きが良い。しかし、暑いと料理に手間をかけなくなり、簡単なもので済ませる傾向にある。
一般小売店〔印章〕（経営者）	お客様の様子	・企業関係の注文が減少したが、団塊世代の子ども達の結婚で、婚姻関係の個人注文が増加している。
一般小売店〔酒店〕（経営者）	販売量の動き	・参議院選挙の影響もあって料飲店の売上が減少している。この暑さでビールなどの消費が伸びるはずなのに、量販店やスーパーで購入するためか、料飲店の売上が減少している。またお中元の売上也減ってきている。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・クリアランスセールの前倒し実施で、先月はかなりのプラスが出たが、今月は予想以上にマイナスが出ており厳しい状況である。
百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・6月末からのセール先行スタートも要因となって、7月に入り衣料品の低迷が顕著となる。再値下げしても客の反応は悪く、単品での購買もあって消費のシビアさは継続している。また、好調な推移をみせていた宝飾の動きにも陰りがみえてきている。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・サテライトショップがオープンして1か月半が経過した。客の百貨店に対する要望は食品関係を中心に強いが、景気自体が改善されている感じは特にない。
百貨店（販売担当）	販売量の動き	・前月から変わらず宝飾や美術品等の高額品は好調で、衣料や日用品は今一歩伸びず、前年割れという状況が続いている。クリアランスが前倒しになったためスタートは好調であったが、後半にかけて苦戦し、累計では前年に届いていない。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・紳士服、婦人服、子供服の日常着的な商品の動きは鈍いが、特選ブランド系の洋服、バッグ、アクセサリーは好調で、売上の大半を占めている。また、食品関係の物産展は好調である。
スーパー（店長）	販売量の動き	・客単価に変化はない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・円安で値上がり商品があるにもかかわらず、集客の目玉商品として使用する頻度が高くなっている。猛暑の影響で日中の買物客の少なさが目立つ。
スーパー（店長）	来客数の動き	・競合環境に変化はなく、売上が前年比で100%を割っている。
スーパー（総務担当）	単価の動き	・客単価は横ばいか、やや低下しており、来客数が伸び悩んでいる。
スーパー（販売担当）	単価の動き	・食品や衣料品の夏物処分を中心に、販売量は比較的好調に推移しているものの、家具家電といった高単価の商品群の動向は鈍い。総体的に客単価が伸びず、売上は依然厳しい状況である。
スーパー（管理担当）	来客数の動き	・来客数がほぼ前年並みで、状況に変化はない。
スーパー（財務担当）	販売量の動き	・同業他社の販売促進強化と消費者の低価格志向による買いまわりにより、買上点数が減少している。
スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・客単価、販売数量とも前年並みに推移しており、競合激化のなかでは、前年並みは上向きの方向と考える。
スーパー（販売担当）	単価の動き	・チラシの目玉商品のみを購入する客や、夕方に値引きされた商品目当ての客が多く、客単価は低い。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・景気が上向きとのことだが、給料やボーナスに全く反映されていないとの声が多い。
衣料品専門店（地域ブロック長）	単価の動き	・客単価、来客数ともに良くない。
家電量販店（店長）	お客様の様子	・夏商戦真ただ中であるが、客は暑いという理由だけでは購入しない。
家電量販店（販売担当）	お客様の様子	・エアコンの盛り上がり期待できない。
家電量販店（企画担当）	お客様の様子	・客の購入率が想定していたよりも上がっていない。
乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・新商品がなく苦戦を予想していたが、3か月前、前年と比べても販売量に変化はない。

乗用車販売店 (統括)	販売量の動き	・新型車が出たにもかかわらず、販売量は前年の90%と3か月前とあまり変わらない。
乗用車販売店 (営業担当)	来客数の動き	・新規の客が増えない。
その他専門店 [時計](経営者)	単価の動き	・販売促進策の展開でやや売上が増加したが、上向きとは言えず、客単価も低い。
その他専門店 [布地](経営者)	来客数の動き	・猛暑が続いて人が外出せず、商品を買う元気もない。アベノミクス効果を期待しているが、まだ地方に影響はない。
その他専門店 [海産物](経営者)	お客様の様子	・夏休みに入って家族客は増えたが、例年以上ではない。団体客は低調で、購買単価も上がっていない。
その他専門店 [ファッション雑貨](従業員)	単価の動き	・ボーナス需要が期待されたが動きは鈍く、客単価も低く、売上は前年を何とか死守している状況である。
その他小売 [ショッピングセンター](運営担当)	単価の動き	・春先に比べてアベノミクス効果は一服し、様子見局面と思われる。施設の既存店売上は、ここ数か月連続で前年比100%超であり、堅調に推移している。
高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・日によって来客数に差があり、不安定な状況である。
一般レストラン (外食事業担当)	お客様の様子	・7月第1週は豪雨の影響で来客数が減少したが、第2週は宴会などで好調であった。夏休みに入るとファミリー客が減少し、夜9時以降の来客数が減少した。家で飲食することが増えている。
一般レストラン (エリア担当)	来客数の動き	・週末の集客が悪く、単価も低い。宴会予約も一組当たりの人数単価が低い。
都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・夏休みに入り全体的な予約はまあまあであるが、盆休みの宿泊が今一つである。
都市型ホテル (企画担当)	競争相手の様子	・競合施設がネット販売単価を低下させた。全体の需要が減少して、客の争奪戦が激しくなっている。
都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・広島ディスティネーションキャンペーンの影響で、宿泊客は前年と比較して約5%増加しているものの、各レストランは、和食・洋食・中華ともに前年を下回っている。
旅行代理店(営業担当)	来客数の動き	参議院選挙も終了したので、これからの政局の動き次第である。
タクシー運転手	来客数の動き	・夜の乗車率が悪い。
タクシー運転手	来客数の動き	・客数に変化はない。
タクシー運転手	来客数の動き	・夜の客足は回復していない。
通信会社(広報担当)	単価の動き	・単価が下がるまで待つ消費者が多く、景気が回復しているとは思えない。
テーマパーク (管理担当)	来客数の動き	・来館者数の前年同月比に変動はない。
テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・週末の天候不順や猛暑が続き、入園者が前年に比べ若干減少した。
ゴルフ場(営業担当)	お客様の様子	・今年は例年に比べ梅雨明けが早く、猛暑日が続いているので、客足が鈍く、年配客の利用が減った。
美容室(経営者)	来客数の動き	・例年、夏は来客数が増えるはずであるが、単価を下げたりクーポンを発行しても来客数の伸びが悪い。
美容室(経営者)	来客数の動き	・来客数に偏りがあり、忙しい時と暇な時の差が激しい。
その他サービス [介護サービス](介護サービス担当)	お客様の様子	・客から景気の変化がうかがえるような話は聞かない。
設計事務所(経営者)	お客様の様子	・明るい話はなく、地方切り捨ての話だけが聞こえてくる。
設計事務所(経営者)	販売量の動き	・戸建住宅や小規模ビルの設計が順調に成約し、間もなく着工を迎える物件が多い。消費税増税前の駆け込み需要の最後にさしかかっている。
住宅販売会社 (販売担当)	お客様の様子	・イベントへの来場者数は横ばいで、3か月前と比べ、客の様子に変化はうかがえない。
住宅販売会社 (営業担当)	お客様の様子	・問い合わせや反応状況からみると、好況感が依然としてあり、良い状態で横ばいである。
やや悪くなっている 商店街(理事)	来客数の動き	・異常気象、値上げ、消費税増税問題などの不安材料があり、客の消費行動に結び付かない。来客数も減少している。

		商店街（代表者）	単価の動き	・バーゲン時期であるが、客の購買意欲が弱く、売上が悪い。デフレ傾向であり、将来が不安である。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	来客数の動き	・年に一度の大きな祭りが始まっているが、天気は良いのに売上が良くない。人出はあるが買わない傾向で、夏祭りについては前年より売上が悪い。
		一般小売店〔紙類〕（経営者）	来客数の動き	・観光客の動きが鈍い。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・7月は婦人雑貨やリビングのアイテムが前年並みで推移しているが、6月に前倒しでクリアランスセールに入った衣料品が苦戦している。特に参議院選挙の週に落ち込み、店舗全体でも売上は前年をやや下回る見込みである。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・アベノミクスの効果はなく、100万円を超える商品は全く売れない。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・例年より浴衣の売上が落ちている。若い人はセット物のプリント浴衣に流れ、本物志向の客もいるが、販売量は少ない。染め職人を辞める人が多く、これから先、本当の染めの着物が少なくなる。
		その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（支配人）	来客数の動き	・富士山の世界遺産登録により西方面への客は減少している。インターハイが九州で開催されることと、高校野球が始まることで、短期的には良い傾向になるかもしれない。
		観光型ホテル（支配人）	販売量の動き	・今月は外国人旅行客は増えているものの、肝心の国内客が減っており、全体としては前年より減少した。夏休みの予約も直前化傾向で、現段階では低調である。
		テーマパーク（営業担当）	来客数の動き	・酷暑のせいで屋外型レジャー施設は、みな苦戦している。出雲大社の遷宮ブームにも客を取られている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・単価は上がっているが、来店周期が伸びて来客数は減少している。二極化が更に進行しているようである。
	悪くなっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・セール商材の販売の動きが非常に鈍い。来客数は前年比で横ばいであるが、買上率が低く、価格にシビアな客が多い印象である。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・業界自体が冷え込んでおり、今年に入り右肩下がりで、どんどん販売量が落ちている。
企業動向関連 (中国)	良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・秋の新型車立ち上がりで、自動車部品加工や機械加工の受注は好調である。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・収益面は人出不足や資材の値上がり懸念され、期待できないが、受注量は増加した。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・小口の商流市場、個人市場とも回復基調で、前年を上回っている。取引先客数や集荷の軒数が増加しており、しばらくこの状況が続く。通信販売市場は好調である。
		金融業（貸付担当）	取引先の様子	・お中元などの少し高めの商品が売れていると取引先から聞いた。参議院選挙も終えて、これからますます景気が良くなるとの声をよく聞く。夏のボーナスも増額されている様子で、夏休みは旅行に行くなどの声も聞く。
やや良くなっている	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連部品メーカーからの受注量が少しずつではあるが増加基調になってきた。	
	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼向けの生産は伸びていないが、盆休み対応での生産がある。焼却炉の大口受注が決まり、生産量も増産計画である。	
	鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子	・自動車は生産台数の上方修正もあり、引き続き好調で、建材分野も需要は底堅い。	
	非鉄金属製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・輸送用機器向け及び電子機器向けの生産が好調である。	
	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は、国内向け、ノックダウン生産向け製品ともに好調である。	
	輸送業（業務担当）	それ以外	・現在、大都市に集中している配送センター機能を、震災等のリスク分担を考え、地方に設置するための土地の探索話が増えてきている。	
変わらない	化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・自動車や家電産業の景気が上向きで出荷量はやや増加したが、原燃料費高の影響も受けている。	
	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は春先以降増えると言われ続けてきたが、実際は増えず、全体の受注量は3か月前とさほど変わっていない。	

	電気機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・円安により利益が好転した反面、海外からの部材仕入れ価格が上昇傾向にあり、価格の決定に苦慮している。引き合いは好調である。	
	輸送用機械器具製造業（財務担当）	取引先の様子	・足元の円安水準及び品質、効率等を考慮した中国から国内への注文回帰を追い風に、来年、再来年の仕事量を確保した造船所も出始めている。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・悪いまま推移している。	
	建設業（総務担当）	取引先の様子	・現状として型枠工事業者の仕事量が目いっぱい状態で、工期内での完工が約束できない状態である。仕事はあれども受注に踏み切れない状況が続いており、コスト面でもきびしい状況になることが予想される。	
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・通信機器関係などへの設備投資にはあまり変動がない。また、営業対象であるSOHOや零細企業では景気が良いような話は聞かない。	
	通信業（営業企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・製造業の客への提案の多くは、費用削減と削減分を使った設備投資のセット提案が増えており、現状はコスト維持が第一優先となっている。	
	金融業（自動車担当）	取引先の様子	・自動車部品メーカーの受注は前年水準を上回っている。経費削減効果もあり、利益も増加傾向を継続している。	
	不動産業（総務担当）	それ以外	・来店数、成約件数ともに横ばいである。	
	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・取引先からはアベノミクス効果が全くないとの話が多く聞かれる。一部の事業者だけが潤って、地方には波及して来ないとの内容である。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・一般的に業績は厳しいままである。中小零細企業は人件費を削って利益確保に努めており、夏のボーナスも前年と比較してアップできる状況ではない。	
	やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・特売でしか商品が動かない。
		食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・通信販売の受注が悪くなっている。
		その他製造業[スポーツ用品]（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・材料関係、石油や電気料金の値上げが原因で、生産量は確保できているが、収支面では日々悪化している。円安となっても売価は変わらず、原価アップとなっており、非常に厳しい。
	悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・6月と3月を比較すると水揚げ数量は545t、水揚げ金額は3億円の減少である。6月単月は前年比で、水揚げ数量が358tの減少で前年の72%、水揚げ金額が5,880万円の減少で前年の82%である。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
(中国)	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（採用支援担当）	求人数の動き	・若干、求人の依頼が増えている。
		求人情報誌製作会社（マネージャー）	求人数の動き	・新卒・中途採用含め、新規求人数がやや増えてきている。
		新聞社[求人広告]（担当者）	採用者数の動き	・特にどこの企業というわけではないが、欠員補充という声を夏場に入ってよく聞く。雇用という側面でも人の流れが出てきたのを肌で感じる。
		職業安定所（産業雇用情報担当）	求人数の動き	・6月の新規求人に占める正社員求人の割合は、3か月前と比べ5.2ポイント上昇している。
		職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・新規求人数が前年同月比で増加を続けていることから、改善傾向にあると思われる。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・建設土木業に復調の兆しがみられる。人材不足で受注機会を逃すケースが増えてきており、東日本大震災の復興事業に加え、緊急経済対策による公共事業の増加などに起因している。
		民間職業紹介機関（人材紹介担当）	採用者数の動き	・新卒の内々定の状況が前年より向上していること、企業の募集活動も例年より増えていることから、次年度以降は事業活動が向上する見通しで企業が採用していると見受けられる。
		その他雇用の動向を把握できる者[労働機関]（職員）	求人数の動き	・補正予算による公共事業の受注増を見込んだ建設業や新規オープンした介護施設からの募集が、求人全体を押し上げ、前年同月比で15%増加した。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・製造業を中心に正規雇用は進まず、相変わらず派遣や有期雇用が多い。

	人材派遣会社 (支社長)	採用者数の動き	・求人数は順調に増加しているものの、派遣就業や短期間就業を希望する求職者の数が減少しているため、売上は横ばいで推移している。
	求人情報誌製作 会社(広告担 当)	採用者数の動き	・3か月前と比べて企業の採用意欲は一段落したような感じを受けている。
	新聞社[求人広 告](担当者)	求職者数の動き	・5月の有効求人倍率は、1.21倍と3か月連続で上昇した。軽自動車の量産開始によるところが大きく、明るさはあるが、全体では経済活動の持ち直しとは言えない。
	職業安定所(産 業雇用情報担 当)	求人数の動き	・新規求人数は3か月前と比べて5.4%増加しているが、フルタイム求人数に変化はなく、パート求人が12.6%増加したことによるもので、景気が上向いているわけではない。
	学校[短期大 学](学生支援 担当)	求人数の動き	・あまり変化がみられない。
やや悪く なっている	人材派遣会社 (経営企画担 当)	求職者数の動き	・求職者の確保に苦戦している。
悪く なっている	-	-	-